

第4学年 道徳

第4学年の学習到達目標

- (1) 自分でできることは自分でやり，度を過ぎず節度のある生活をしようとする態度を養います。
- (2) 友達を思いやり，互いに信頼して助け合おうとする心情を育てます。
- (3) 生命の尊さを知り，命あるものすべてを大切にしようとする心情を育てます。
- (4) 規則や公德を守り，みんなや社会のためになることをしようとする態度を養います。

第4学年の主な学習内容

学期	主題名	学習のねらい	単元名
前期	健全な生活態度	時間を大切にし，規則正しい生活をしようとする心情を育てる。	目ざまし時計
	夢をかなえるために	自分で立てた目標に向かって，ねばり強くやり遂げようとする心情を育てる。	いつかにじをかける
	心のかよい合い	挨拶の言葉の意味や礼儀でかよい合う心の大切さを知り，だれに対しても真心をもって接しようとする態度を養う。	「ありがとう」の言葉
	生きることの幸せ	生命の尊さを感じ取り，生命を大切にしようとする心情を育てる。	わたしの見つけた小さな幸せ
	残しておこう	身近にいる動物や植物を大切にし，やさしく接していこうとする態度を養う。	じいちゃんが教えてくれたこと
	まっすぐな心	正直に明るいい心で，元気よく生活しようとする態度を育てる。	ナシの実
	感謝する心	自分たちの生活を支えている人々を尊敬し，感謝する心情を育てる。	しょうぼうだんのおじさん
	進んで活動する	働くことの大切さを知り，進んでみんなのために働こうとする心情を育てる。	点字メニューにちょうせん
	思いやる心を親切な行動に	相手のことを思いやり，親切にする態度を養う。	なにかお手つだいでできることはありますか？
	わたしたちのふるさと	地域のよさを考え，郷土を大切にしようとする心情を育てる。	ふるさとを守った大イチョウ
	みんなの場所を	社会の決まりや約束を守り，公德を大切にしようとする態度を育てる。	日曜日のパーベキュー
	美しいものに感動する心	自然の神秘や美しさに素直に感動する心を育てる。	一ぴきのせみに「ありがとう」
	明るい心で	過ちは素直に改め，正直に明るいい心で元気よくすごそうとする心情を育てる。	ひびが入った水そう
	家族の助け合い	親の深い愛情に感謝し，家族の一員として尽くそうとする心情を育てる。	お母さんのせいきゅう書
	友情の大切さ	友達と互いに理解し合い，助け合っていこうとする心情を育てる。	とべないホタル
	自分のことは自分で	自分でできることは進んでやり，身の回りをきちんと整理，整頓しようとする心情を育てる。	ぼくの部屋
勇気ある行動	正しいと思うことは，勇気を持って行おうとする態度を育てる。	ドッジボール	
後期	自然との共存	自然の神秘に気づき，自然やそこにすむ動物を大切にしようとする態度を育てる。	いなくなったライチョウ
	温かい心を	相手のことを思いやり，進んで親切にしようとする態度を養う。	親切な方へ
	自分の学校のよさ	自分の学校のよさに気づき，みんなで協力し合って，明るく楽しい学級や学校をつくるようとする心情を育てる。	アルバムの中の学校
	社会のルールを守る	きまりや規則の必要なわけを考え，進んでこれを守ろうとする心情を育てる	雨のバスでいりゅう所で
	くじけず最後まで	自分でやろうと決心したことは，ねばり強くやり遂げるよう努力する態度を養う。	ぼくのへんしん
社会のためになることを	働くことの喜びを知り，力を合わせてみんなのためになる仕事をしようとする態度を養う。	できることから	

後期	友だちのよさを知る	友達と互いに理解し合い、助け合おうとする心情を養う。	ぼくらだってオーケストラ
	真心の美しさ	真心の美しさや気高さに感動し、それを大切にしようとする心情を育てる。	花さき山
	受け継がれる生命	受け継がれる生命のたくましさ感動し、生命あるものを大切にしようとする心情を育てる。	バルバオの木
	みんな違ってみんないい	自分の特徴に気づき、よさをのばそうとする心情を育てる。	うめのき村の四人兄弟
	家族みんな	家族みんな明るく楽しい家庭をつくらうとする心情を育てる。	千春とわたし
	日本のよさ	我が国に伝わる文化や伝統のよさを知り、それを大切にしようとする気持ち育てる。	ふるしき
	自然や動植物へのやさしさ	どんな小さな動植物にも優しくし、自然を大切にしようとする心情を養う。	ごめんね、サリー
	ものを生かす心	物や金銭の大切さがわかり、古いものでもそれを活用しようとする心情を育てる。	おもちゃもリサイクル
	きまりを守る心	約束や社会のきまりを進んで守ろうとする態度を養う。	年老いた旅人
	思いやりを行動で	相手の身になって思いやり、進んで親切にしようとする心情を育てる。	やさしいなみだ
	友達への注意	友達と互いに信頼し合い、ときには注意し合いながら、友情を深めていこうとする心情を育てる。	大きな絵はがき
なによりも尊いもの	生命のかけがえのなさを感じ取り、生命を大切にしようとする心情を養う。	走れ江ノ電光の中へ	

評価の観点・方法

- (1) 道徳の時間に関しては、数値などによる評価は行いません。道徳教育における評価は、教師が児童の人間的な成長を見守り、よりよく生きようとする努力を評価し、勇気づける働きを持つものです。授業中の児童の発言や児童の生活の様子、日記や作文、心のノートなどを利用して道徳性の共感的理解に努め、その結果を授業に生かすようにしています。
- (2) 道徳性の評価は、広い視野に立って、多面的に長い目で多くの人々の協力を得て、いつも動的、発展的に評価します。また、全体の評価と一人一人の評価に努めています。

特色ある学習方法

多様で感動的な読み物資料を使ったり、ビデオなど興味深い資料を使ったり、どの子どもが発言できる話し合いを工夫したりして、心に響き、心が動く指導法を工夫します。

使用教材等

道徳副読本「道徳 4 ゆたかな心で」を用います。どの児童にも親しみやすく、とけ込みやすい資料です。主体的に道徳の学習ができ、道徳的実践力を育てることができるよう指導方法を工夫しながら学習を展開していきます。

「心のノート」は、児童生徒が身につける道徳の内容を、児童にとってわかりやすく書き表し、道徳的価値について自ら考えるきっかけとなるものです。道徳の時間だけでなく、学校の教育活動全体において活用するとともに、学校と家庭などが連携して、児童の道徳性の育成に取り組めるものとして活用することを通して、道徳教育のよりいっそうの充実を図ります。

留意事項

- (1) 保護者の方が直接語りかける体験談や願いは、児童の心に強く訴えるものです。家庭での話し合いを取り入れた学習の際には、ご協力をお願いします。
- (2) 学校と家庭が連携して児童の道徳性を育成するための手だての一つとして、保護者の方に「心のノート」を一緒に見たり、考えたり、記入したりすることをお願いすることがあります。「心のノート」を共通の話題として、家族の団らんの時間にでも話し合ってみてください。